

## 9 電気及び上下水道

### 1 電灯の需要状況(契約口数:各年度末現在、使用量:年間)

電気の需要区分は、「電気供給約款」によれば電灯需要と電力需要に分かれている。「電灯」とは白熱電球、けい光灯、ネオン管灯水銀灯等の照明電気機器(付属装置を含む)をいう。

(単位:千KWH)

年 度	総 数		定 額 (a)		従 量 A (b)		従 量 B (c)		臨 時 (d)	
	契約口数	使用量	契約口数	使用量	契約口数	使用量	契約口数	使用量	契約口数	使用量
平成 19	19,567	78,853	4,322	2,888	14,773	67,997	414	7,882	58	86
20	19,575	77,876	4,309	2,850	14,823	67,314	419	7,589	24	123
21	19,656	77,329	4,292	2,835	14,910	67,154	420	7,251	34	89
22	19,613	82,508	4,284	2,787	14,873	72,096	419	7,552	37	72
<b>23</b>	<b>19,653</b>	<b>79,394</b>	<b>4,292</b>	<b>2,679</b>	<b>14,918</b>	<b>69,687</b>	<b>410</b>	<b>6,898</b>	<b>33</b>	<b>42</b>

注) (a) 電灯又は小型機器(主として家庭用に使われる電灯以外の電気機器)を使用する需用でその総容量(入力)が100ボルトアンペア以下であるもの。本表では、公衆街路灯も含む。

(b) 一般家庭が使用する電灯、小型機器で、使用する最大容量が6キロボルトアンペア未満であるもの。積算電力計により算出される。

(c) 少し容量の大きい機器を使用する家庭及び容量の少ない機器を使用する事務所で、契約容量が6キロアンペア以上であるもの。

(d) 電灯又は小型機器を使用し、契約使用期間が1年未満の需要であるもの。

資料: 本表は、市町村別実績表により算出、年間使用量は、各項目別に千KWH未満四捨五入してあるため必ずしも総数とは一致しない。

関西電力(株)相生営業所調

### 2 電力の需要状況(契約口数:各年度末現在、使用量:年間)

電力には、低圧、高圧、特別高圧がある。「低圧」とは標準電圧100ボルト又は200ボルト、「高圧」とは標準電圧6000ボルト、「特別高圧」とは標準電圧20000ボルト、30000ボルト又は70000ボルトをいう。本表は、電気の需要を電力により受けるものについて表章した。数字の範囲は1に同じ。

ただし、電力自由化により、平成18年度からは低圧により電気の供給を受ける需要のみの開示となった。

(単位:千KWH)

年 度	総 数		業 務 用 (a)		小 口 (b)		大 口 (c)		そ の 他 (d)	
	契約口数	使用量	契約口数	使用量	契約口数	使用量	契約口数	使用量	契約口数	使用量
平成 19	1,802	10,546	X	X	1,171	7,662	X	X	631	2,884
20	1,751	9,976	X	X	1,146	7,270	X	X	605	2,706
21	1,713	9,459	X	X	1,135	6,859	X	X	578	2,600
22	1,664	9,923	X	X	1,117	7,448	X	X	547	2,475
<b>23</b>	<b>1,626</b>	<b>9,305</b>	<b>X</b>	<b>X</b>	<b>1,099</b>	<b>6,974</b>	<b>X</b>	<b>X</b>	<b>527</b>	<b>2,331</b>

注) (a) 高圧又は特別高圧で電気の供給を受けて、電灯若しくは小型機器を使用し、又は電灯若しくは小型機器と動力とを合わせて使用する需要で、契約電力が50キロワット以上であるもの。官公庁や会社などのビルがこれにあたる。(※ただし18年度より自由化範囲(特定規模需要)のため非開示)

(b) 低圧電力と高圧電力甲の合計である。低圧電力とは、低圧で電気の供給を受けて動力を使用する需要で、契約電力が原則として50キロワット未満である。高圧電力甲とは高圧で電気の供給を受けて動力(付帯電灯を含む。)を使用する需要で、契約電力が50キロワット以上であり、かつ、500キロワット未満であるもの。低圧電力は設備の小さい会社、高圧電力甲は設備の大きな会社の工場の動力設備がこれにあたる。(※ただし18年度より高圧電力分は自由化範囲(特定規模需要)のため非開示)

(c) 高圧電力乙と特別高圧電力の合計である。高圧電力乙とは高圧で電気の供給を受けて動力(付帯電灯を含む。)を使用する需要で、契約電力が500キロワット以上であり、かつ、原則として2000キロワット未満であるもの。特別高圧電力とは、特別高圧で電気の供給を受けて動力(付帯電灯を含む。)を使用する需要で、契約電力が原則として2000キロワット以上のもの。動力設備の非常に大きな工場がこれにあたる。(※ただし18年度より自由化範囲(特定規模需要)のため非開示)

(d) 臨時電力、農事用電力、深夜電力の合計である。臨時電力とは、契約使用期間が1年未満の需要で、主として建設工事用電力がこれにあたる。農事用電力とは、農事用のかんがい配水のために動力(高圧又は、特別高圧で電気の供給を受ける場合は、付帯電灯を含む。)を使用する需要である。深夜電力とは、毎日午後11時から翌日の午前7時までの時間を限り、温水のために動力(深夜電力に限り、小型機器は動力とみなす。)を使用する需要である。(※ただし18年度より高圧電力分は自由化範囲(特定規模需要)のため非開示)

資料: 本表は、市町村別実績表により算出、年間使用量は、各項目別に千KWH未満四捨五入してあるため必ずしも総数とは一致しない。

関西電力(株)相生営業所調

3 上水道の概況(各年度末現在)

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
総 人 口 (人)	32,584	32,297	31,906	31,573	31,289
給 水 人 口 (人)	32,584	32,297	31,906	31,573	31,289
給 水 戸 数 (戸)	13,621	13,656	13,666	13,651	13,671
普 及 率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給 水 装 置 数 (個)	13,621	13,656	13,666	13,651	13,671
配 水 管 総 延 長 (m)	239,804	239,555	237,397	236,794	240,440
配 水 量 (m <sup>3</sup> )	5,054,469	4,886,454	4,704,248	4,731,506	4,692,512
一 日 平 均 (m <sup>3</sup> )	13,810	13,388	1,288	12,964	12,821
一 人 一 日 平 均 (l)	424	415	404	411	410
一 日 最 大 (m <sup>3</sup> )	15,256	16,184	15,102	15,141	14,905
一 日 最 小 (m <sup>3</sup> )	11,390	12,040	10,554	10,481	11,602
有 収 水 量 (m <sup>3</sup> )	4,548,226	4,388,651	4,192,818	4,205,061	4,284,346
一 般 用 (m <sup>3</sup> )	4,548,226	4,388,651	4,192,818	4,205,061	4,284,346
一 般 分 (m <sup>3</sup> )	3,860,185	3,758,073	3,696,651	3,705,931	3,627,957
特 定 工 場 分 (m <sup>3</sup> )	688,041	630,578	496,167	499,130	656,389
公 衆 浴 場 用 (m <sup>3</sup> )	-	-	-	-	-
有 収 率 (%)	90.0	89.8	89.1	88.9	91.3

西播磨水道企業団調

注)・総人口・給水人口は各年度末現在

$$\text{普及率} = \frac{\text{給水人口}}{\text{総人口}} \times 100$$

・給水装置とは、専用給水装置、私設消火栓のこと。

・配水量と配水管延長は、分水を除き、市町別有効水量で按分した。

・有収水量とは使用水量のことで、工事放水、消防用水などの無収水量と漏水などの無効水量を除いたもの。

$$\text{有収率} = \frac{\text{有収水量}}{\text{配水量}} \times 100$$

・相生市のみの数値である。

・特定工場分とは、石川島播磨重工業(株)相生事業所と関西電力(株)相生発電所である。

#### 4 下水道の概況(各年度末現在)

##### (1) 下水道の普及状況

年 度	基 本 計 画		施 工 済		
	排 水 面 積	計 画 人 口	排 水 面 積	処理区域内人口	処理区域内世帯
	ha	人	ha	人	世帯
平成 19	811	30,800	695.30	27,583	11,114
20	811	30,800	695.50	27,384	11,202
21	811	30,800	695.90	27,113	11,255
22	811	30,800	696.20	26,900	11,269
<b>23</b>	<b>811</b>	<b>30,800</b>	<b>696.20</b>	<b>26,703</b>	<b>11,313</b>

市、建設管理課調

##### (2) 普及率・水洗化率

年 度	行政区域人口 (A)	処 理 区 域 内 人 口 (B)	水 洗 化 人 口 (C)	水 洗 化 戸 数	人 口 普 及 率		水 洗 化 率 (C)/(B)
					(B)/(A)	(C)/(A)	
	人	人	人	戸	%	%	%
平成19	32,584	27,583	26,393	9,414	84.7	81.0	95.7
20	32,297	27,384	26,466	9,559	84.8	81.9	96.6
21	31,906	27,113	26,347	9,650	85.0	82.6	97.2
22	31,573	26,900	26,210	9,769	85.2	83.0	97.4
<b>23</b>	<b>31,289</b>	<b>26,703</b>	<b>26,041</b>	<b>9,888</b>	<b>85.3</b>	<b>83.2</b>	<b>97.5</b>

注)行政区域人口は、各年度末現在の住民基本台帳法と外国人登録法に基づく人口である。

処理区域には農業集落排水事業等は含まない。

市、建設管理課調

##### (3) 下水道施設

年 度	終末処理場	ポンプ場	管渠延長
	ヶ所	ヶ所	m
平成 19	1	5	231,903
20	1	5	232,181
21	1	5	232,319
22	1	5	232,601
<b>23</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>232,601</b>

市、建設管理課調